

岐阜本巣カンパニー通信

第1号 9月13日

(1) 岐阜本巣カンパニーについて

『岐阜本巣カンパニー』とは、当校高等部の教育活動で行っている作業学習の全体の総称です。働くために必要な態度や技能を身に付けることができるように、5つの作業班に分かれて、製品製作の学習を行っています。作業学習で製作した製品は、年間を通じて幾つかの販売会を行い、当校職員や保護者、地域住民の皆さまに販売しています。

6月と10月には、学年ごとに校内作業実習や現場実習に取り組み、卒業後の進路決定に向けて頑張っています。

(2) 作業班の紹介～9月編～

【農業園芸班】

畑やハウスで季節の野菜を育てたり、夏と冬には花の寄せ植えを作ったり、自然の中で活動する作業班です。現在は、収穫の秋に向けて、畑の土壌準備や畝づくり、育てる野菜や花の種まきに取り組んでいます。



【食品加工班】

「菓子製造」「喫茶運営」と2つの活動グループに分かれて作業を行っています。菓子製造では、わくわくフェスタで販売するクッキーやシフォンケーキの生地作り、喫茶運営グループでは、毎週木曜日に営業する「Café 和」の準備をしています。



【手工芸班】

生徒一人一人が色合いを考え、織り機で反物を作り、ミシンで巾着袋やポーチ等の製品を作っています。現在は、わくわくフェスタでお客様に喜んでもらえるように、真心込めて製作をしています。



【印刷紙工班】

生徒たちが考えたイラストのデザイン画を編集して、シルクスクリーン印刷をしたり、クラフトバンドを編み込んでかごバッグを作成したり、幅広く作業をしています。牛乳パックを利用してつくるメモ帳もとても人気があります。現在は、ゆめフェスタで販売するクリスマスリースを一生懸命作っています。



【トータルワーク班】

今年度から、ことり工房と合併したトータルワーク班は、日めくりカレンダーを生徒が一枚ずつ一生懸命スタンプングして製作しています。

購入した児童生徒が自宅でも毎日、自分の役割としてお手伝いができるように願いを込めて開発した製品です。



(3) 岐阜県庁販売の報告について

7月17日(水)に岐阜県庁2階物販販売スペースで「岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校」「岐阜県立恵那特別支援学校」の2校と合同で、作業製品販売会を実施しました。当校からは、各班の代表生徒が販売会に参加し、来ていただけたお客様に緊張しながらも、自分たちが作った製品を一生懸命説明する姿が見られました。完売した班もあり、とても充実した時間を過ごすことができました。



(4) 9月の製品販売について

今月は「本巣松陽高校の学校祭販売」「わくわくフェスタ販売」の2回の販売活動を行います。本巣松陽高校の学校祭販売は、9月5日(木)に実施をして、多くのお客様にご購入していただきました。

わくわくフェスタ販売は、9月18日(水)～20日(金)まで実施をする販売会です。たくさんの商品を準備していますので、ぜひお越しくください。詳細は、当校ホームページ内に案内を載せてありますので、ご参考になれば幸いです。